

平成30年3月30日

伊勢原市協働事業完了報告書

伊勢原市長 殿

住 所 XXXXXXXXXX
 団体名 いせはら生涯学習ボランティア協会
 代表者名 会長 逢坂 伸一



平成5月31日付で協働事業採択決定通知を受けた事業が完了しましたので、伊勢原市市民協働事業提案制度実施要綱第14条の規定により、関係書類を添えて次のとおり報告します。

1. 協働事業の成果

協働事業名	第13期いせはら市民大学楽しい講座
事業費総額	180,400 円
事業期間	自 平成29年7月1日 至 平成30年3月10日
実施場所	伊勢原市内
参加者数	780 人
事業実施内容及びその成果	① 市の多大な援助を受けての講座内容でした。結果は別紙実施内容報告書のとおりです。計画すべて実施でき、講座生に評価を受け、見聞を広げ、知識を広げたこと。次回も受講したいとの感想がありました。 ② 参加者数780人、修了者37人を輩出できたこと。 ③ 講座の運営に昨年の受講生が加わり、運営上も体制上も新鮮さを注入出来たこと。 ④ 新しい講座に感動をもったとの感想があり、とくに、修学旅行としての市内企業の見学や能面、近藤如水の絵、久方ぶりの人権セミナーなどに感想がありました。

2. 添付書類

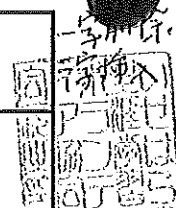
(1) 伊勢原市協働事業収支決算書（第8号様式）～別紙のとおり

- ④ その他市長が必要と認めるもの～①補足報告書、②実施内容表、③基本計画書、④修了生・入講生名簿 ⑤アンケート用紙と回答集計。

第8号様式 (第14条関係)

伊勢原市協働事業収支決算書

協働事業名	第13期いせはら市民大学・ ^{しい} 楽習講座
団 体 名	第13期いせはら市民大学・楽習講座実行委員会

収入の部

区分	決算額 (円)	内訳 (数量・単価等)
1.受講料	62,400	入講生参加費 1,500円×40名 単科生参加費 300円×8名
2.事業収入	0	
3.市負担金	90,000	市協働事業・市負担金
4.雑費	28,000	寄付
収入合計額	180,400	

支出の部

区分	決算額 (円)	内訳 (数量・単価等)
1.講師謝礼費	95,000	20,000円×1名 10,000円×6名・5,000円×3名
2.会場費	0	
3.事務消耗品 ・事務所費	60,800	用紙・インク、コピー代・花代・ 保険、事務費等
4.宣伝・通信費	24,600	葉書、切手代
支出合計額	180,400	

第13期いせはら市民大学楽しい講座事業評価シート

段階	評価項目
準備段階	1. 協働が開始された段階はいつからか ☒企画の段階から ☐実施段階から ☐その他 () 2. 協働の呼びかけはどちらからか ☒市民活動団体 ☐市 ☐その他 () 3. 協働で行う意義は明確だったか ☒はい ☐いいえ 意義〔市と市民活動団体との協働でより信頼度の高い市民ニーズを反映した講座を企画可能となり、また多部門の職員を講師に起用することから、双方向の現状認識も図られる。〕 4. 事業の目的は明確だったか ☒はい ☐いいえ 目的〔これまでの参加者から希望の多かった「伊勢原を知る」を中心に、新たな講座を展開する。〕 5. 事業の目標（何がどのような状態になることを意図しているか）は明確だったか ☒はい ☐いいえ 目標〔①毎年参加しても満足できる「楽習」を目指す。 ②生涯学習リーダーの養成を目指し、講座修了後には、受講生を中心とした新たな生涯学習グループを発足させる。〕 6. 相互理解は十分だったか ☒はい ☐いいえ 理由〔]
実施段階	7. 協定書作成にあたって十分協議したか ☒はい ☐いいえ 理由〔] 8. 事業運営上の役割分担は適切だったか ☒はい ☐いいえ 理由〔] 9. 進捗状況や情報を共有できたか ☒はい ☐いいえ 理由〔] 10. 実施プロセスの記録は残せたか ☒はい ☐いいえ 理由〔] 11. 互いの特性を活かすことができたか ☒はい ☐いいえ 理由〔]
終了後の段階	12. 事業内容の報告を作り、公開できたか ☒はい ☐いいえ 理由〔] 13. 目的・目標は達成できたか ☒はい ☐いいえ 理由〔] 14. 今後の課題と改善策を話し合ったか ☒はい ☐いいえ 理由〔] 15. 総合的に見て事業に対する満足度は 【 ⑤ 4 3 2 1 】 理由〔協働事業として事業が円滑に行われた。] 16. その他、気づいた点 ①受講生からの評価は大変好評であったが、次年度事業においても、新たな視点からタイムリーな必要課題の提供に努めたい。 ②市民協働事業の最大の強みである市民が望む講座、要求課題の明確化を行い、「楽習」講座として年間スケジュールに組み込んでいきたい。